

令和4年度 道徳授業公開 5年生

5年 1組	5年1組
教 材 名 (出展)	「さんさんさん」 (清瀬市郷土資料)
内容項目	国や郷土を愛する態度
あらすじ 話し合ったこと	本資料は、市内にある日本社会事業大学のサークル団体「さんさんさん」での実話を基に作られている。主人公の戸谷さんが、先輩の誘いからサークルの活動に参加し、先輩と清瀬の方が親しく話している姿を見て、戸谷さん自身も活動にのめりこんでいくという内容である。清瀬にあまり興味がなかった戸谷さんが清瀬を好きになっていくきっかけとなったことについて話合った。
児童の反応 (感想)	<p>児童にとって、「大学」「有志団体」など難しい言葉が多い郷土資料だったため、必要に応じて解説を加えながら登場人物の心情の変化について話し合いました。</p> <p>登場人物が、「なぜ自分のまちではない清瀬のまちのための活動にのめりこんでいくことになったのか」というところを中心に話し合いました。郷土愛というテーマに難しいなと呟いていた児童たちでしたが、清瀬のまちの人と先輩、主人公の心の距離の違いを視覚化しながら考え、児童からは、「もっと清瀬の人と関わりたいと思ったのではないか」「先輩みたいにもっと町の人と仲良くなりたいと思ったのではないか」「清瀬の人の期待に応えたいと思ったのではないか」など、清瀬の人との関わりが戸谷さんの心情を変化させるきっかけになったのではないかと考えることができました。</p> <p>コロナ禍でお祭りや地域の行事などの行事も減り、地域の方と接する機会が少ない児童たちにとって難しいテーマではありましたが、「人との関わり合いでまちを好きになることもある」ということを、みんなで話し合うことができました。</p>

